

R8.10

舞鶴ふるさと発見館

舞鶴市郷土資料館だより

★舞鶴市内の学生は入館無料です★

サロンスペースも ミュージアムトークも 今月の一品も 縄文だ！

今月のサロンスペースでは縄文時代の衣服やボート、石斧や投げやりなどの復元品を展示します。自然と共に生きた縄文人の暮らしを間近で感じてください。

また、9月8日より常設展の**考古コーナー**では**志高遺跡出土の縄文時代前期(紀元前5000～3500年頃)の土器**をご紹介します。これは普段考古コーナーで展示している弥生土器が佐賀県にある吉野ヶ里歴史公園の特別企画展『よみがえる邪馬台国―倭人伝のクニを探るVIII』に貸出中のためです。縄文土器の展示は11月29日(日)まで。

さらに今月のミュージアムトークでは、**縄文時代後期(紀元前2000年～1000年頃の遺跡) 桑飼下遺跡**の発掘に関するお話、縄文時代の名の由来となった「縄文」などのお話に加え、作られた時代の違う縄文土器を比べてみましょう。

学芸員が選ぶ
今月の一品

くわがいしも

桑飼下遺跡出土品
(舞鶴市指定文化財)



ミュージアム
トーク

10/18 (日)
13:30～14:30

桑飼下遺跡
発掘物語について

展示室にて実施

★参加費無料

★前日までに郷土資料館(75-8836)へ



今月の一品では、由良川の下流にある桑飼下遺跡から出土した土器を紹介します。桑飼下遺跡は1973年に発掘調査が行われ、日常生活に使われた石製の道具、多くの土器、43基の炉跡、偶然腐らずに残っていたドングリやトチなどの当時の縄文時代の食物が見つかり、集落の生活を知ることができました。

由良川の下流域では、時期の異なる縄文時代の集落跡が複数見つかっており、考古コーナーでご紹介している志高遺跡もその一つです。

糸井文庫コーナー 10月のテーマ

糸井文庫は糸井仙之助が集めた丹後関連資料（約2200点）です。中でも丹後の伝説を描いた浮世絵が約200点あります。そこで、当館では毎月テーマを決めて糸井文庫の浮世絵を紹介しています。

戯画
漫画

浦島



玉手箱から煙と……これ、だれの顔？

「辻浦しま当る面箱」

嘉永元（1848）年頃
歌川国芳 糸井文庫

今月のテーマは「**戯画漫画浦島**」です。江戸文化と言えば風刺のきいたパロディを思い浮かべる人も多いでしょう。**戯画**は、現代の漫画のルーツともいえます。糸井文庫の浮世絵から戯画を集めてみたら……「浦島太郎」ばかりになりました。江戸っ子の風刺とユーモア溢れる世界をどうぞお楽しみください。

★西舞鶴駅から徒歩10分★



舞鶴ふるさと発見館（舞鶴市郷土資料館）

開館時間 9:00～17:00（最終入館16:30まで）

今月の休館日

5日（月）・13日（火）・14日（水）・19日（月）・26日（月）

〒624-0853

舞鶴市字南田辺1番地

西総会館 1F北側

TEL 0773-75-8836 FAX 0773-77-1314

入館料

大人 100円

舞鶴市外の学生
50円

★舞鶴市内に居住または通学する学生は入館無料です★